

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1272500644
法人名	特定非営利活動法人 グループホーム 花いちもんめ
事業所名	グループホーム 花いちもんめ
訪問調査日	平成 20年 1月 28日
評価確定日	平成 20年 2月 25日
評価機関名	日本高齢者介護協会 千葉県支部

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	1272500644		
法人名	特定非営利活動法人 グループホーム 花いちもんめ		
事業所名	グループホーム 花いちもんめ		
所在地 (電話番号)	〒270-0114 流山市東初石3-103-67 (電話) 04-7178-2608		
評価機関名	日本高齢者介護協会 千葉県支部		
所在地	〒263-0012 千葉市稲毛区萩台町 696-132		
訪問調査日	平成20年1月28日	評価確定日	2月25日

【情報提供票より】(20年 1月 17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 6 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 5.3	

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000~90,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	300,000 円	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	500 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 160 円

(4) 利用者の概要(1月 17日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名
要介護3	2 名	要介護4	3 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢 平均	82 歳	最低	71 歳
		最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	流山中央病院 ハートケア流山 平原歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

流山市の閑静な住宅街に平成15年に開設された2階建ての木造1ユニットのホームです。このホームの特徴は、理念にも掲げています「家族として優しく温かくきめ細やかにお世話をする」事や「自由でその人らしい暮らしを支援する」事に力を入れていることですが、実際職員はやさしく温かく、利用者個々人が自由に暮らせるようお世話していることがアンケートでも分かります。共有のリビングで、家庭的な雰囲気の中、皆さん笑顔で思い思いに談笑している光景が印象的です。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題は、「理事長がホームの運営・職員の採用などを独断で決めること」ですが、職員会議に諮って決めるように改善されています。又「洗剤を利用者が間違えて飲まないようにする」事は、目に付かない所に置くように改善されています。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者・職員は、評価の意義を十分理解・共有し改善に取り組んでいます。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	平成19年4月、10月に自治会長、民生委員、地域包括センター担当、利用者、家族、職員が出席し、運営推進会議を開催しています。会議では、グループホームの現状を説明し、ボランティアを募ったり、地域の方にもっと理解と協力を得るため働きかける事等の意見が出て、それを織り込んだ活動を現在しています。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族への報告、連絡は、月1回の請求書送付時に健康・暮らしぶりをグループホーム通信でしています。意見・苦情の取り上げについては、その都度職員が対応しており、ホームとしては職員会議で取り上げ、改善、実施しています。又、介護相談員を月1回受け入れ、外部者へ意見を言える機会を設けています。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	積極的に自治会に参加し、自治会の行事や小学校からの給食会に誘われ、出席しています。日常の散歩時に近所の方と挨拶を交わしたり、手製のおはぎを配ったり、お返しにお花や野菜を頂いたり、小学生からお便りや時々訪問を受けたりなど、着実に地域に根ざしています。今後は、参加するだけでなく、ホームを開放したり、地域に貢献する活動(草取り、掃除等)を実施し、地域に確実に根ざす事を望みます。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「もう一つの家族としていつもそばにいて、優しく温かくきめ細やかにお世話をし、支え合っています」を理念にしています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をリビングに掲示し、管理者、職員共に職員会議で確認し、念頭に置きながら日々のサービスに取り組んでいます。実際日頃から理念に沿って介護サービスが実施されていることが、家族アンケートからも分かりやすく、温かい家庭的雰囲気の利用者が楽しく談笑しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	積極的に自治会に参加し、自治会の行事(夏祭り・敬老会等)や小学校からの給食会に誘われ、出席しています。又、日常の散歩時に近所の方と挨拶を交わしたり、手製のおはぎを配ったり、お返しにお花や野菜を頂いたり、小学生からお便りや時々訪問を受けたりなど、着実に地域に根ざしています。	○	自治会長はじめ世話役とはかなり親交がありますが、年1回ホームを地域の方々に開放し、更なる幅広い理解と協力を得られるよう努める事を望みます。そして、地域の行事に参加するだけでなく、地域に貢献する働き(草取り、掃除、廃品回収など)をし、確実に地域の一員として根ざす事を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員は評価の意義を理解共有し、改善に取り組んでいます。前回の評価時の改善指摘事項「理事長がホームの運営・職員の採用等を独断で決めること」は、職員会議に諮って決めています。又「洗剤を利用者の目につかない所に置く(利用者が間違っって飲む危険性がある)」は既に実施済みです。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成19年4月、10月に自治会長、民生委員、地区社協代表、地域包括センター担当、利用者、利用者家族、職員、管理者が出席し、運営推進会議を開催しています。会議では、グループホームの現状説明したり、ホームの理解を得るために、ボランティアを募ったり、地域の方にもっと働きかけるなどの意見が出、実際それを織り込んだ活動をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者と年数回グループホーム地域連絡会で話し合いをしています。又、介護相談員を月1回受け入れ、利用者・職員と話し合いを持ち、管理者への助言・提言を受け、サービスの改善に役立っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月グループホーム通信を家族に送付し、利用者の健康・暮らしぶり等を報告しています。預かり金はパソコンで管理し、必要時に報告しています。職員の異動は家族の集まり時に紹介を兼ねて家族に報告しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設けたり、訪問時や運営推進会議で家族の意見・不満・苦情を聞き、職員はその都度対応しています。ホームとしては、出された意見等には前向きに対処し、職員会議で取り上げ改善・実施しています。又介護相談員を月1回受け入れ、外部者へ意見を言える機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者へのダメージを最小限に抑えるため、職員には大分前から直接利用者に伝えないように指導し、直前にホームから伝えていきます。又職員が退職後気軽に訪れることができる雰囲気をつくり、職員と利用者の接触の継続を図っています。又職員には、特定の利用者への思い入れがないように皆同じように接する事を指導しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人は、県の新人研修を受け、ホームで作成した新人養成計画に沿い、ベテランに付いて数ヶ月新人マニュアルを参考にしながら実習しています。外部研修は、講習費・交通費はホーム負担で職員に紹介し、受講を促しています。内部研修はその都度(救急法・心肺蘇生法トレーニング等)実施し、全員参加しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	流山・野田地区のグループホーム連絡会に、管理者層・職員層別に年数回出席し、情報交換しながらサービスの向上に努めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が見学や体験入居して、周りの雰囲気を感じたり、他の利用者や職員と接してみて、本人が納得した上でサービスを開始しています。入居されてからも場の雰囲気になれ、よい関係が築けるように本人・家族と相談しながら工夫しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員としての自覚を持ちながら、利用者がやりたいことは、自力で出来るようにゆっくりと「待ちの介護」を行っています。食事の準備、配膳、下膳等教え、教わりながら行っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思い・希望・意向など様々で又複雑であることを踏まえて、日々の関わりの中から、理解し把握しようと努めています。そしてカンファレンスや職員会議で職員皆で共有できるようにしています。センター方式も一度試みています。	○	じっくりとした日々の関りの中で、思いや意向を把握しようと努めていることがよく分かります。そして、すでに一度実行されているセンター方式のよさも実感されていますので、「利用者本位のケア」のために、今後家族やボランティアの方も協力しあって、そのセンター方式を生かすよう希望します。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員間で定期的(3ヶ月に1回を目標)に介護計画を立て、家族や関係者には必要時に参加して頂き意見を反映しています。	○	介護計画を作成するために、職員だけでなく、本人や家族が参加できるようにして頂きたいと思います。必要な関係者の意見が反映でき利用者本位の暮らし方が出来るような、介護計画が出来ることを期待します。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態により必要時職員会議で話し合い、状況の変化に即した計画を立てています。解決が難しい時は家族にも参加してもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の要望等に柔軟に対応し、受け入れ可能な事柄には前向きに対処するように努めています。以前は1泊のバス旅行にも出かけています。また近々同所において少人数の、デイサービスが開所されますので、希望者は一緒に色々なことが体験できるようです。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの連携医療機関及び本人のかかりつけ医で医療が受けられるように支援しています。慢性疾患については家族が連れて行かれるのを基本にして、介護サマリーを送って連携を保っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、年2回の集いのときに、家族にホームの方針を説明しています。看護職のスタッフもいますが、ホーム内で出来ることには限界があることも伝えています。	○	まだ重度化した利用者が居ないこともあり、具体的にチームを組んでの取り組みはされていませんが、今のうちから基本的な方針を皆で立てて、共有できるようにしておき、出来るだけ早い段階から本人・家族・かかりつけ医との話し合いをして行くことを希望します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの保護や尊厳の保持について研修に参加した職員が伝達講習を行い、皆で話し合いをしています。新人にはベテランが付いて実習、その場その場で説明・注意しています。利用者には人生の先輩としての声かけを行い、羞恥心にも配慮しています。入浴は同姓介護を基本にしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人が自分で選んで日々を過ごせるように、本人の希望を優先しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しむことができるように声かけし、見守りながら、出来る人やりたい人と一緒に準備や食事作り、片付けを行っています。自分の食器、箸を使って食べる楽しみも支援しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回は入浴するように促がしていますが、毎日入る人もいます。浴室は2箇所があり自由に自分で選んで入ってます。希望があれば、時間も曜日も応えられるようにしています。入浴を拒否している方には職員の都合で曜日を定め、入ってもらっています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味や楽しみごとができる力のある場合は支援可能なため、「昔取った杵柄」の力を引き出す支援に努めています。洗濯して干したり、たたんだり、花の水遣り、掃除など自分の仕事としてやったださる方とは職員と一緒にいきます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人が希望すれば、気候・天候に合わせて適宜外出できるように支援しています。散歩には寒い時期も半数以上の人が出かけます。買い物に行きたい人の支援も行っています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居後間もないときの徘徊・帰宅願望がある時以外は、日中の鍵かけはしないケアに取り組んでいます。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホームで消防署を呼び、近隣住民にも声をかけ、年1回消火器訓練を実施しています。又ホーム内の避難訓練は2ヶ月に1回実施し、連れ出しの順番表、緊急連絡先、対应手順などを掲示し、即対応できるようにしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立や調理方法、盛り付け、食器等の工夫で食欲をそそるようにし、頻繁に水分摂取を無理なく促がしています。自分でお茶を入れることの出来る方は、一人でも飲めるようになっていきます。摂取量は、1日3回の申し送り時に確認できるように個人ファイルに記入されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の場は、明るく清潔で季節の花や人形、置物で飾られ家庭的な温かい雰囲気に包まれ、利用者が居心地よく暮らせるよう配慮されています。皆さん笑顔で思い思いに談笑されているのが印象的です。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家族に話し、利用者の馴染みの物や思いで深い物(仏壇、小箆筒、小机、写真、人形、コタツなど)を持ち込み、利用者が家にいるような雰囲気に包まれるように配慮されています。		